

ソフトマネジメントによる労働時間削減の好事例

取組名 勤務予定の見える化② ～帰宅時間、週末休み

取り組んだ現場の休暇取得状況

4週6休

取組み概要

- ・ 職員の帰宅予定時間や週末休みの計画を週初めに宣言し見える化！
- ・ 「帰りやすい」「休みやすい」雰囲気を積極的に醸成した。

取組みの背景・課題

- ・ 上司より先に帰り辛い、週末現場が稼働しているのに休み辛いといった意見や、遅くまで仕事をするのが当たり前の感覚になっているなどの所員の意見があり、帰りやすい、休みやすい環境作り、また帰る時間や、休日取得に意識を持たせることが課題と考えました。

取組み詳細

- ・ 作業所の全員が参加。作業所の目立つ位置に掲示板を設置。作業所のノー残業デーを明示。毎朝帰宅予定時刻を、週初めに週末休暇の予定を記入する。
- ・ 事前に帰宅予定時刻や休日予定をお互いに公開することにより、“時間”管理を常に意識出来る。

効果

- ・ 早く帰る、今週末は休むといった意識を持たせることができる。また、周りからも声を掛けることができ、所内でそういった雰囲気を作ることで残業時間の軽減をすることができた。

利点

- ・ 本人以外から、帰宅時間が予定より遅い時など声を掛けることができ、残った仕事を分担、協力するきっかけにもなり、話すことによってコミュニケーションの向上にも繋がった。

継続のポイント

- ・ ただ掲げて、記入するだけでは効果が無く、あえて行事予定表を見ながら個々に声を掛け、確認をすることで意識を持たせることが大切。

改善点

- ・ 当日の業務内容をさらに見える化すれば業務シェアや、早出、遅出、コンクリート打ちによる居残り当番など、さらにバランスの良い勤務環境に調整効果があると思います。

市販ソフト

- ・ 特になし

参考資料等

- ・ 特になし

適用条件等

- ・ 特になし

検索用分類

- 意識改革 □業務削減 ■効率化 □人材育成・教育 ■ワークシェア
- 適正工期 ■休暇 □ワークライフバランス □その他

